

ムサビの、つながり。

MSB! MAGAZINE

ロングインタビュー

佃 弘樹

アーティスト

「好きなことだけ、選んでいく」
その場所ならではの唯一無二の作品



Alumni News ムサビ校友のみなさん

- 07 いまいあやの (絵本作家) ESSEY 絵本で世界と繋がる。
- 08 西島ロッチ暁子 (舞台美術家・米国舞台美術ユニオン加入) ESSEY 好きなことと食っていくことと。
- 09 校友発掘キャラバン no.32-37
葛西朋子／岩佐十良／宇佐美雅浩／久保田翠／中丸ひとみ／武藤真菜
- 10 ムサビファミリー ③ 梅澤朝樹ファミリー & 顧海奈ファミリー

02 Information 校友会のお知らせ

11-12 Branch News 支部のお知らせ

13-14 News Topics トピックス

15 MAU Information ムサビのお知らせ

16 校友会推薦ツアー・事務局だより

msb!

2019年度 定期総会 報告

日時 2019年8月31日(土) 15:45～

会場 武蔵野美術大学 吉祥寺校 2号館4階

新会長挨拶

1枚の絵から音楽が聞こえてきたのです。感動でした。そして、抽象画の前で立ち尽くすようになりました。抽象画を描いてみたいが、糸口が見つからない。そこで目に飛び込んできたのが、「武蔵野美術大学 通信教育課程」でした。お陰様で、今は想いを込めて終わらない形を描いています。



卒業と同時に常任幹事となり6年が経ち、前会長よりバトンが渡されました。培われてきた活動を、今後も一生懸命継続していきたいと思っています。中でも、支部活動はとても有意義な活動です。校友同志の交流はもとより、地域の方々にも母校の素晴らしさを伝えることができると信じています。

ムサビ全体のことを考え、皆様の意見を大事に、柔軟に対応し、バランスのとれた活動をしていきます。みなさまのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

——武蔵野美術大学校友会 会長 星 啓子(12通油絵)

議案：第1号議案 2018年度 事業・活動報告／第2号議案 2018年度 決算報告書案ならびに会計監査報告／第3号議案 役員改選案／第4号議案 2019年度 事業・活動計画案／第5号議案 2019年度 予算案 上記議案のすべてが承認されましたので、ここに報告いたします。

参加534名(委任状含む)、校友会会則5章15条・5項に基づき条件を満たし成立した。

大学・校友会支部情報交換会

大学からは今年度の新学科スタートを中心に大学の現状をプレゼンいただいた。また、支部への事前アンケートにより大学から回答があった。さらに、支部からは、学生への積極的な活動支援や学生との共同展覧会など、支部活動に若い校友が参加できるようにしていきたいとの意見がだされた。

校友会懇親&交流パーティー

校友会会員、大学教職員、一般の方含め和やかに参加者160名に上る吉祥寺での夏の夜宴となった。



第25回 武蔵野美術大学地域フォーラム「アート&デザイン2019吉祥寺」

もうひとつの芸術祭 原点に立ち、未来を見る

日程 2019年8月31日(土) 第1部・9月1日(日) 第2部

大学創立90周年を迎えた今年は、ムサビ創立の原点である吉祥寺校で、「もうひとつの芸術祭」をキーワードに、パネルディスカッション・トークライブ・作品展示を実施。

パネルディスカッション「吉祥寺から巣立った我々」

ゲスト：小池晴二／甲田洋二／長澤忠徳 司会：手羽イチロウ



左から甲田氏、小池氏、長澤学長、手羽氏

トークライブ「みうらじゅんからの手紙」

ゲスト：みうらじゅん(写真②)/ヨシムラヒロム(写真③)/なかむらるみ(写真①)

ライブペインティング(キャラストレーション)：uwabami(写真④)



武蔵野美術大学創立90周年企画 ムサビズム展part II

招待作家：甲田洋二、遠藤彰子 名誉教授

会期：2019年8月26日(月)～9月1日(日)

会場：吉祥寺校1・3号館 出品者：100名



出展・ご来場いただきありがとうございました。

予告 次年度総会 ●定期総会：2020年6月14日(日)予定

定期総会を武蔵野美術大学鷹の台校にて開催予定です。



「好きなことだけ、選んでいく」 その場所ならではの唯一無二の作品

今年、群馬県立近代美術館で展覧会を開催され、アーティストとして精力的に活動し続けている佃弘樹さん。

NY近代美術館MOMAをはじめ、美術館にも多数作品所蔵があります。デザイナー時代からアートの道へ転身された経緯や構築的な作品の世界観を所属ギャラリー「NANZUKA」のアトリエにて伺いました。

聞き手：KIKI

佃 弘樹
Tsukuda Hiroki

アーティスト

1978年香川県生まれ。2001年武蔵野美術大学映像学科卒業後、フリーランスでグラフィックの仕事をする。2005年にコンテンポラリーアートギャラリーNANZUKAに所属したことをきっかけにアーティストとして活動を始め、近年ではドイツ、NY等で数多くの個展やグループ展に参加し海外での評価を高めている。NY近代美術館MOMAに大作所蔵。

平面構成的な抽象表現を得意とする佃弘樹は、光と影、建築と自然、自然認識と錯覚といったテーマを基に風景画を描いている。

写真＋表紙写真：野崎航正

楽しく制作を続けるために、 嫌いなことを消してきました。

——いつ頃から、美大を目指されましたか。

高校2年生の時に東京の叔父が亡くなって、葬儀に香川から両親と参列したときに、初めて叔父の職業が「詩人」だったことを知りました。参列者に作家や編集者など、これまでに見たことない自由な雰囲気と面白そうな大人がたくさん来ていて……。『文化的な世界』を目の当たりにしたのがきっかけとなりました。ものすごい衝撃と憧れの気持ちを抱きました。まだ、特に将来のヴィジョンもなかった頃で、進学校に通っていましたが、勉強が嫌いで、美術が得意だったこともあって、「こんな自由な大人になりたい」と思うようになっていました。「美大に行きたい！」と先生に相談したところ、東京の美術予備校をいくつか紹介してもらいました。それから一年浪人して映像学科に入学することになりました。

——映像学科は第一志望でしたか。

まずは、音楽やファッションなど、自分自身が好きな分野のグラフィックデザインをやりたいという気持ちがありました。いくつか受験して合格した学科の中で、やりたいことに近いのが映像学科でした。入学したものの課題は少なかったもので、ムサビにはあまり行っていなかったですね(笑)。当時、八王子に兄と

住んでいたこともあって、音楽作品をつくらせて、音楽イベントを多摩美で開催していました。友だちも多かったので、たくさん遊んで、たくさん映画を見て、本も読んで、音楽を聴くという毎日でした。当時は勉強をしていたつもりではないですが、それらを経験し、吸収して、僕自身の内面ができていって、今の作品につながっていると思いますね。

——楽しんで向き合っていたことが今の制作につながっているんですね。特に好きなものは何でしたか。

幼少期に数多くのSF映画を観たせいで、僕の作風は自然とSFっぽくなったのですが、なかでも中学生の時に観た映画『ブレード・ランナー』にはすごく衝撃を受けて、映画のセットデザインを担当したシド・ミードの高価な画集を頑張って手に入れたり、高校時代は難しい海外のSF小説を読んだりしていました。ただ大人になってからは日本の純文学も読むようになり、音楽や映画もジャンルにこだわらず興味の幅は広がっています。古い友人からは、昔から作品の世界観は変わっていないと言われますし、確かに昔から好きな作品は、今でもくり返し鑑賞していますね。

——画面から制作の楽しさが伝わってきますが、アーティストへの転換期は。

まず、楽しくないと続けられないですね。僕はこれまで嫌いなことを消してきました。例えば、学生時代のアルバイトでは上司が嫌い(笑)。その経験から「自分は我が強いから、就職しても、きっと上手くいかない」と考えて、卒業してから数年はフリーでグラフィックデザインをやっていました。その活動もやりたくて始めたのですが、商業デザインの仕事では、僕がつくったものに対してディレクターから修整指示を入れられることに我慢がでなくなっていました。仕事が楽しく無くなっていたんです。それが、2005年の頃でしたが、コンテンポラリーアートギャラリー『NANZUKA』のオーナーである南塚氏に「アートやろうよ」と誘われて思い切ってアーティストへの転身を決意しました。アートであれば、みんなのために分かりやすいものをつくらなくてよくて、シンプルに好きなものをつくって、その作品が売れたら収入になる。僕の性格に向いていると感じました。そこからは制作のストレスは無くなりましたが、初めは売れるかどうか保証はありませんし、他の大変さはありますけどね(笑)。まあ消去法で選択肢を消していいたらアーティストしか残らなかったわけです。



——経済的な不安はありませんでしたか。

はじめは制作活動だけでは食べられないので、グラフィックデザインの仕事もしつつ、恥ずかしながら親に仕送りもしてもらいました。それでもアーティストとして、バイトだけはしないと決めていたんです。バイトは安定した収入にもなるけど、同時に疲労と妙な充実感が生まれるんですよね。でもその充実感は将来の活動とまったく関係なかったり、もしかしたら美術家を諦めて、バイト先に就職したりとか……。自分の将来と関係ないことで充実感を感じていてはダメです。多感で吸収力の高い貴重な10代、20代の時間を無駄に過ごしてはいけません。僕は、簡単には売れなくても自分の作品制作だけで充実を感じてきたことで、美術家として形になりました。もちろん家族の協力がいないことには難しかったです。

——佃さんの作品は建築的でもあります。気になる建築物はありますか。

香川が地元なこともあって、直島や豊島^{てしま}に時々行きますが、西沢立衛さんが設計した『豊島美術館』は好きです。建築そのもののみならず、島に向かう道のりから既に鑑賞体験が始まっているんですね。安藤忠雄さんの『地中美術館』もそうですが、もしあの建物や作品が都内にあったとしてもまったく意味が変わってしまいます。「その場所ならではの作品」として、その最たるものだと思います。僕

もそういうことを意識して制作していますので、いつかああいうものがつくれたらいいなと思っています。

——画枠が台形なのは为什么呢。

2013年に一度だけスランプを感じたことがありました。それまでの平面作品は、普通に矩形の画枠だったのですがどうしても単純な構図になり、閉塞感を感じていました。2014年の個展で初めてインスタレーション形式での発表をしましたが、空間に対して自分の作品をバラバラにするような考え方で取り組みました。いつもPCや紙の上でやっているカラージュを空間でやってみようと思ったのです。その流れで画枠も台形にしたところ、そうすることで画面の向こうの世界への入り口のように見えるし、画面の外側の世界も作品の一部として捉えられるようになりました。それ以降、台形の作品を数多くつくっていますね。

——無限に広がっていきそうですね。作品技法（作風）について教えてください。

それまではひとつの絵としての作品がメインだったのですが、あるとき、画面に収める必要がないことに気がつきました。平面作品はデジタルカラージュからはじめます。僕が撮った写真やドローイング、ネットで拾った画像も含めてパソコン上で完璧なカラージュをつくりまします。レイヤー数は200を超える

ほど多くのイメージを使用します。その作業が一番大事です。その後、それを紙に書き写し、インクの下ロップや滲み、エアブラシを駆使しながら、カチッとつくったカラージュを破壊していきます。最終的にはアクリルフレームの上にシルクスクリーン印刷を施して完成です。インスタレーション作品もそのような考え方の延長線上にあります。パソコンの中でやっているカラージュを実際のモノでやっています。

この作品は去年からのシリーズですが、下はフリーハンドで描いたドローイングで、その上のアクリルの額に建築図面をシルクスクリーンプリントして二重構造をつくっています。



Hiroki Tsukuda『Storage Diagram 02』

アクリルの層が二重になってる間に写真を挟むこともあります。すべてカラージュエリックな発想を展開した「カラージュエリック」作品です。

——開催中の群馬県立近代美術館での特別展示は「その場所ならではの作品」を実践していますね。

そうですね。磯崎新さんが美術館の設計をしていて、同じく彼がデザインした展示室の照明が台形のかまぼこ形をしていて、その照明をモチーフに空間と展示方法も発想しました。部屋を中心に上部の照明と対象になるように同サイズの木製の巨大な壁を立てて、そ

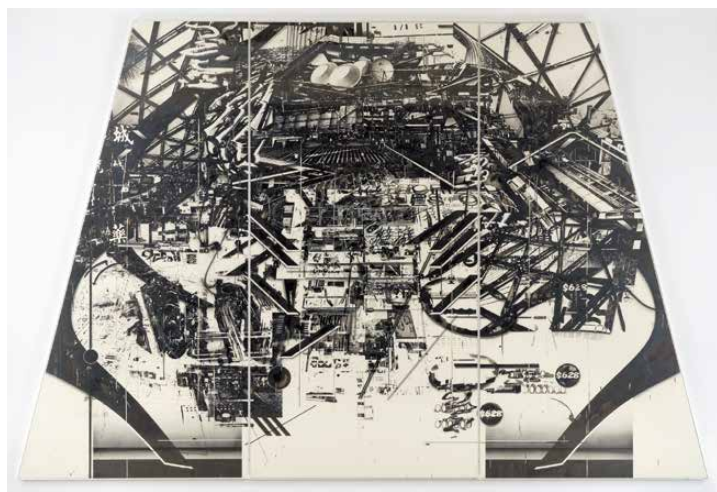


群馬県立近代美術館『Monolog in the Doom 佃 弘樹』会場風景

こに作品やオブジェを設置しました。これまでにやったことのない展示方法ができて面白かったですね。インスタレーション形式での発表の際は、石や流木など拾ってきたものも含めて展示しますが、川から美術館に漂着物を移動させることで新しい世界ができて楽しいです。

——目の前にある制作中の作品（10月の香港の展示作品）について。

事前に「アート・バーゼル香港2019」で訪れたときに、撮影して素材を集めました。今進めている作品も「カラージュエリック」です。



Hiroki Tsukuda『NEON DEMON』

グループ展なので、この作品と小さい作品1、2点を出します。

香港には3歳の長男も一緒に行くのが楽しみです。彼は僕の持っている水木しげるさんの本を見て、妖怪がすごく好きになったみたいです。

——後輩にメッセージをお願いします。

若い頃は自分が何をしたいかなんてわからないと思います。大学だけではなく、色々なところに出掛けて色々な経験を積んで「これはちょっと嫌だな」「これは本当に好きだな」と、自分自身の好き嫌いを見つけてほしい。一度経験してみても、つまらないと感じたら、それは向いていないので辞めたらいいと思います。規則正しく会社で働けるかどうか、才能だと思いますが、僕には向いてなかったですね（笑）。

——今回のゲストを紹介してください。

映像学科の同級生で、フォトグラファアのCHITO（チト）さん（00学映）をご紹介します。彼女とは卒業してから特に仲良くなりました。彼女は一時NYに住んでいたことがあり、僕のNYやベルリンでの発表のときに、彼女とよく会いましたね。みんながよく知ってる広告を撮影していて、最近では作品としての写真も撮っていますね。

編集後記

香港での展覧会として制作中の大作のあるアトリエは、何人ものアシスタントが働く現場でした。その作品は、どこか未来的な雰囲気を持ち、二重三重に黒を中心に構築され、こちら側の世界と同時にもうひとつの世界があるようで、そこへの入口のように感じました。奇しくも同学科出身でSF作家・故伊藤計劃氏が、私たちの生きている現在の文明社会を風刺的に鋭く描いた小説を思いだしました。ますますこの活躍を期待しています。（編集部）



聞き手…KIRK（キキ）

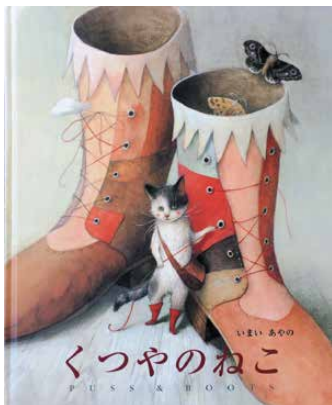
東京都出身。武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業。雑誌をはじめ広告、テレビ出演、映画などで活躍。エッセイなどの執筆も手掛け、旅や登山をテーマにしたフォトエッセイ『美しい山を旅して』（平凡社）など多数の著書がある。近年では自身の写真展『PRISMA』シリーズを発表、また芸術祭に作家・審査員として参加するなど多方面で活動している。

いまいあやの 絵本作家

エッセイ わたしのつくること、生きること (21)



絵本『めぐる森の物語』



絵本『くつやのねこ』



5カ国に翻訳された、絵本『ベルナルさんのぼうし』

絵本で世界と繋がる。

イタリアのボローニャで毎年、国際絵本原画展と絵本の見本市が開かれ、世界中の出版社が集います。そこで出品していた原画を見たイギリスの編集者から絵本にしないかと連絡があり、一冊目の『108ぴきめのひつじ』が出版されることになりました。ただ、絵本の原画は5枚でストーリーも未完成、絵本のつくり方も印刷やデザインの知識もなかったのです。簡単には進みませんでした。それでもひとつずつ丁寧に教えてくれた辛抱強い編集者のおかげで、絵本は3年がかかりで形になったのです。

絵本のイラストレーションの世界を意識し始めたのは、在学中に児童書の挿絵のアルバイトを経験したとき。参考に自宅の本棚に眠っていた絵本を引っ張り出してみて、こんな絵の世界があったのかと新鮮に思いました。特に、その中で印象的だったのは水彩画の繊細なタッチで描かれたリスベート・ツヴェルガーやベアトリクス・ポターの作品。子どもものものとして扱われる絵本の中でも、ちゃんと大人の鑑賞に堪える質の高い作品に心を奪われました。そのころ、日本画学科では大きなパネルでの制作が多く、それと違って絵本の絵は机の上で描けるサイズで落ち着く感じがしました。そして文章に頼らず、物語を挿絵という一枚の

絵に籠めることが面白かった。

大学卒業後、デザイナー志望でステーションナリー会社をいくつか受けていたちょうどその頃にボローニャの原画展に入选し、絵本制作に集中しようと思った。絵本という、私らしい絵を描くのに一番心地良い場所を見つけたのは幸運でした。

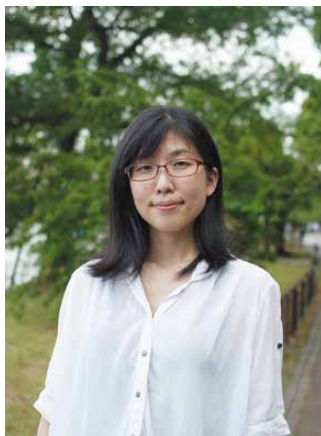


絵本『チャッピーの家』

な作業で世間との関りが薄くなりがちでも、絵本を見た方々から連絡をもらったり、絵本以外の仕事の依頼を受けたりして繋がりができていく。世界と繋がっていく。時間をかけて描くため制作は少しずつですが、これからも一冊一冊を丁寧につくっていきたいです。

最近、馴染みだった書店が次々と閉店し、絵本もデジタル化の波にのまれていきます。でも、紙の絵本の出版はなくなりません。製本された絵本の紙の手触りを子どものところに体験しているかどうかは大事なことだと思うから。今、私の描いた絵本を本棚から引っ張り出して一心にめくっている娘を見ていてつくづくそう願います。

いまいやの
1980年ロンドンに生まれる。イギリス、アメリカ、日本で育つ。
2002年武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業。2003年
2004年、2005年、2006年、2009年、2012年に
ポロニヤ国際絵本原画展に入選。作品に『つやのねこ』『チャッ
プルの家』『ソップ物語』『ベルナルズ家のぼうし』『めぐる森の
生物』（B1出版）『いなかのネズミとまちのネズミ』（録聞 耳文
岩崎書店）『108びきめのひじ』文芸鑑賞がある。いずれも英語版
フランス語版、ドイツ語版、その他の言語でも出版されている。





タトゥーフ舞台装置



西島ロッチ暁子

にしじま ろっち あきこ

舞台美術家(米国舞台美術ユニオン加入)

from New York
USA

舞台装置のためのスケッチ



木のテーブルに大理石を描くことも



裸足で散歩 舞台模型

1999年空間演出デザイン学科卒業。2000年NYへ渡米。2001年MA Lighting Design, Parsons School of Design卒業。2007年MFADesign for Stage & Film, Tisch School of The Art, NYU卒業。2008年アラスカ、ジュノーへ移住。Perseverance theatreで舞台美術家、背景画家として働く。2013-2015年ワシントン州ワラワラのWhitman Collageにて客員准教授。2016年米国舞台美術ユニオン加入。2017年台湾の實踐大学にて客員准教授。同年Broadwayのハリー・ポッターの舞台装置のScenic Artist。2018-2019 Apple, Netflix, Amazon prime, CBS and NBCにて映画、TVのScenic Artistとして働く。2019年9月アラスカ、ジュノーPerseverance Theatreにてアラスカネイティブの脚本家による書き下ろしミュージカル、デビルフィッシュ舞台装置担当。11月NYのクイーンズ劇場でニールサイモンの裸足で散歩(Barefoot in the Park)の舞台美術担当。

好きなことと食っていくことと。

空デ在学中、長い夏休みを利用してロサンジェルスからアメリカ横断旅行。最終地をNYとし、そこで“The Life”というミュージカルを見た。小さい町から出て来た女性がNYで売春婦として成り上がっていく話。当時英語が全くわからない自分が見ても大体の筋書きはわかるし、とにかく面白くてNY滞在2週間の間半額チケットで8回見た。「なぜ英語がわからないのに面白いんだろう？」と考えて「舞台装置、衣装、照明がものすごく助けになってるんだ！」と相当興奮したのを今でも鮮明に思い出せる。

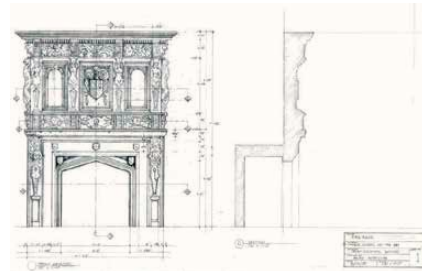
その時NY留学を決意。当時パーソンズ・スクール・オブ・デザインが日本の専門学校と提携していて時々日本でポートフォリオを見てくれる機会があり参加した。英語のクラスを取ることを条件にパーソンズの大学院でインテリアと建築の照明デザイン(MA Lighting Design)を学ぶ。英語がわからなかったので、退学にされないように維持するのでやっとだった(アメリカでは成績が悪いと学生ビザが維持できなくなる)。

パーソンズを卒業後、舞台美術を学ぼうとニューヨーク大学の大学院、ティッシュ・スクール・オブ・ジ・アーツ(Tisch school of the Art, NYU)に出願するも、英語の台本を読み解ける英語力がないからと入学するのに3年かかった。そこで脚本の文字情報から舞台美術というビジュアルに変換する訓練を死ぬほど受ける。

NYの学校は学費が高く、MFA(修士号)だけではなんだか元が取れた気がしなかったため、同じ学校に通っていたアメリカ人の先輩に求婚し、旦那と永住権を上乗せゲット(笑)。

誤算だったのは結婚後1週間目に夫がアラスカ、ジュノーのパーセヴェランス劇場の芸術監督になりアラスカに移住。この劇場で舞台美術を手がけるようになるも、現場監督から「セットは建てるけど描くのは自分でやってね。他に誰もいないから」ということで背景画を我流でやることに。舞台装置を限られた時間と予算で描く訓練を7年ほどやる。この間、舞台に関わって食っていくことの厳しさを痛感。そんな時、メトロポリタンオペラの背景画家をしていたTisch時代の恩師から米国舞台美術ユニオン(United Scenic Artists Local 829)に加入すればBroadway、TV、映画の仕事ができること、ユニオンがNYでの暮らしに困らない賃金を保証してくれることを聞く。それからユニオンに入るために試験準備に取り掛かる。受験資格は背景画家の責任者として6年以上の経験があること、ポートフォリオ(大理石、木目、風景画、建築パース)そして決められた時間内でモチーフを描くこと。試験が日本の美大受験と似ていて助かった。加入後、高い技術とスピードを持ったほかのユニオンの仲間(ユニオンのメンバーは皆一律同じ時給のため仕事が速い人ほど仕事依頼が増える)と一緒に仕事をしていると、自分の画力も底上げされる。画力が上がるとデザインの精度も上がるので一石二鳥。

現在はBroadwayのハリー・ポッターの舞台装置、Apple(自社アプリによる配信と、映画製作が今年より開始)、Netflix、Amazon prime製作のTV、映画のScenic Artistとして食い扶持を稼ぐ一方で、ユニオンに加入によりデザイン料の大小を心配することなく劇場の舞台美術の仕事を受けている。渡米して来年で20年。好きなことと食っていくことのバランスがやっと取れて来たところ。



小道具図面

取材
日記 32



葛西 朋子

かさい ともこ/96学工

全国通訳案内士、トラベルデザイナー、
早稲田大学エクステンションセンター講師

26歳のとき家族の都合でシンガポールへ引っ越し、美術館の日本語ガイドのボランティアを始める。帰国後、身に付けた英語力を生かして外国人観光客に観光地や街を案内する英語ボランティアガイドとなり、さらに、全国通訳案内士の資格も取得。現在は、団体ツアーからプライベートツアー、国や企業のインセンティブツアーまで幅広く活躍中。また、超富裕層の顧客を対象に、一人一人の要望に応じたカスタムメイドの旅行プランを企画・催行する「トラベルデザイナー」の仕事にも力を入れている。ゲストの多様なニーズを満たすコンテンツを、一つ一つ探って行程をつくっていくという地道な作業は、アート作品をつくるプロセスと似ていると考える。

取材：大橋ディビッドソン邦子 (05通デコミ)

取材
日記 33



岩佐 十良

いわさ とおる/90学エイン

株式会社自遊人代表取締役
クリエイティブディレクター

「メディアは上質な情報を発信すべきだ」という思いから、コンセプトやテーマ、読者層を絞った雑誌『自遊人』を2000年に創刊。また、上質な情報を提供するためには品物自体も発信しないといけない、つまり「情報に対して、発信する側が責任を持つべきだ」と考え、2002年に米の販売をスタート。オフィスを東京から新潟に移転したのち、味噌、醤油、野菜なども順に手がけ、現在では50種類以上の商品を取り扱っている。デザインというのは、単純にカタチや外見が美しいとかいう話ではなく、本来は「世の中の仕組みを変えていくもの」。政治・経済から地方の寄り合いまですべてのコミュニティを内包しながら存在している。

取材：堀香織 (92学油)／構成：広報部

取材
日記 35



久保田 翠

くばた みどり/85学建

NPO法人クリエイティブサポートレッツ理事長、
障害福祉施設アルス・ノヴァ施設長

建築を一生の仕事と志し、まちづくりのコンサルティングや環境デザインなどを手がけていたが、重度の知的障害を持った長男の誕生で人生の大転換を迎える。2000年に同じ境遇の母親7人と一緒に、障害を持つ子どもとその家族の居場所を作ろうと「クリエイティブサポートレッツ」を発足。アートイベントや講座を通じて共生する社会の形成を目指す「たけし文化センター」事業と、障害者の社会的な地位向上を目指す「アルス・ノヴァ」事業の二本柱で展開している。「知的障害者や彼らの日常こそが創造的でアートそのものであり、彼らの存在自体が人々の価値観を変え、社会を動かす起動力になりうる。」

取材：大橋ディビッドソン邦子 (05通デコミ)

取材
日記 36



中丸 ひとみ

なかまる ひとみ/77短生

日本郵便株式会社 郵便・物流事業企画部
切手・葉書室 切手デザイナー

長年グリーティングカードに携わってきた経験から、日本郵政公社(当時)へ転職。切手デザイナーとして47都道府県の花を描いた「ふるさとの花」のシリーズ、宝塚歌劇団の記念切手、日本郵便のキャラクター「ぼすくま」等をデザインする。切手に用いる絵は美しいだけではなく正確性が求められるため、花の絵は小石川植物園へ実際に行き行って検証。仕事で大切にしていることは、皆さんに喜んでもらえるような商品づくり。切手を制作するにあたっては、「集めなくなる」ことはもちろん、「使いたくなる」、「送りたいくなる」デザイン。手紙には送る人に対して添える思いがあるので、その気持ちを添えるための余白が必要だと考えている。

取材：磯部らん (06通工生デ)

取材
日記 34



宇佐美 雅浩

うさみ まさひろ/96学視

写真家・美術作家

広告代理店退社後、カメラマンアシスタントを経て、2004年にフリーの写真家となる。東日本大震災をきっかけに、日本人が抱えてきた歴史といま向き合わなくてはならない課題を作品に託し、『佐々木道範 佐々木るり 福島 2013』など「Manda-la」シリーズを発表。今後の目標は、福島作品に続く『早志百合子 広島 2014』とともに、原爆を投下された長崎、内戦を経験している沖縄、大空襲を体験した東京の三作品を制作し4部作に仕立て、世界中の美術館で展示されること。大切なのは、自分の立ち位置を客観的に分析し、歴史と闘いながら、表現を見つけること。

取材：堀香織 (92学油)／構成：広報部

取材
日記 37



武藤 真菜

むとう まな/12学視

公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
広報担当

広報担当として、2019年ワールドカップに向けて、観客人口を増やすこと、そして大会終了後も継続してファンでいてもらうことが大きな目標だ。ワールドカップが自国で開催されることはラグビー界にとってとても良いことだが、その時だけでなくレガシーとして残していくことが重要。そういった意味で2019年、2020年はとても大きなチャンスだと捉えている。ラグビーの場合、ルールが難しいと言われたり、サッカーや野球と違って競技経験のない人が足を運びづらいと言われたりするので、そこを変えていきたい。世界トップレベルのプレーが目の前で見られる、またとな機会なので、ぜひ多くの人に生の試合を観に来て好きになってもらいたい。(2018年10月取材)

取材：広報部

BRANCH NEWS

支部のお知らせ

日本国内外に57ある、
ムサビ校友会支部の活動をご紹介します。

支部展「新人賞」 2019年4月→9月 16名受賞

- | | | |
|-----|-----------------|-----------------------------|
| 千葉 | 1 佐々木大次郎(80通デ芸) | 油彩「パリのノートルダム寺院」 |
| | 2 吉田幸代(02通デプロ) | テキスタイル「春の光に包まれて」 |
| 神奈川 | 3 中島文子(12通油絵) | 油彩「こどもの刻」 |
| | 4 峯村宏子(90通美油) | シルクスクリーン「信州・夜明け前」 |
| 茨城 | 5 安藤華舟(66短デ商) | 墨彩画「しだれ梅」 |
| | 6 小野瀬浩司(17通油日) | 日本画「水田」 |
| | 7 中村雄二(17通油絵) | ミクストメディア「流動ー」 |
| | 8 野本高志(79院デ建) | 水彩「土浦まちかど蔵」 |
| | 9 稗田佳子(14通油日) | ミクストメディア「風景標本」 |
| 宮崎 | 10 緒方桜奈(15院美油) | 油絵「クモマ」 |
| 埼玉 | 11 竹下淳一(69学産工) | 建築模型「さあー、集まって!! (今は無き故郷の家)」 |
| | 12 齋藤由加(95学彫) | 彫刻「風の眼'12」 |
| | 13 稲葉敏枝(12通油絵) | 「想う一人のかたち」、他 |
| 大阪 | 14 額縁昌代(06通油絵) | ミクストメディア「或る日の風景」 |
| | 15 林妃朗子(15通工スベ) | ミクストメディア「No.293」 |
| | 16 林和枝(15通工生デ) | 陶土レリーフ「N. N.ワールド」 |



支部活動報告 2019年4月→9月

- 千葉** 第44回武蔵美千葉支部展●4月16日～4月21日●千葉県立美術館●出品者30名/作品54点/来場者823名/新人賞2名
- 山口** 山口ムサビ展●5月3日～5月6日●クリエイティブ・スペース赤れんが●出品者8名/作品39点/来場者262名
- 神奈川** 武蔵野美術大学出身作家によるM展2019●6月24日～6月30日●画廊楽Ⅰ&Ⅱ●出品者60名/作品数83点/来場者817名
M展ハガキサイズの小品展●6月25日～7月1日●万国橋ギャラリー●出品者41名/作品数41点/来場者312名/新人賞2名
- 茨城** 武蔵野美術大学校友会第17回茨城支部展●7月9日～7月15日●茨城県つくば美術館第1展示室●出品者30名/作品数98点/来場者1275名/新人賞5名
- 三重** 武蔵野美術大学校友会三重支部展「び・SAM展」●8月7日～8月12日●三重県立美術館県民ギャラリー●出品者19名/作品58点/来場者836名
- 宮崎** 第45回宮崎ムサビ展●8月21日～8月25日●宮崎県立美術館県民ギャラリー1●出品者数25名/作品100点/来場者756名/新人賞1名
- 埼玉** ムサ美埼玉2019展●8月27日～9月1日●埼玉県立近代美術館 一般展示室1●出品者数59名/作品102点/来場者947名/新人賞3名
- 関西6支部** 武蔵野美術大学校友会 第4回支部関西展●9月4日～9月8日●奈良県文化会館 展示室C・D●出品者数86名/作品99点/来場者600名
サムホール展●9月5日～9月8日●ギャラリーカフェ Takeno●出品者数44名/作品44点/来場者300名
- 滋賀** 第18回 武蔵野美術大学校友会 滋賀支部展●9月14日～9月16日●栗東芸術文化会館 さきら●出品者数7名/作品25点/来場者79名
- 鹿児島** ぞ展3～百花繚乱、造形を超えて～●長島美術館●9月14日～9月23日●出品者数28名/作品127点/来場者1622名
- 大阪** 武蔵野美術大学90周年記念校友会大阪支部展●9月17日～9月29日●海岸通ギャラリー CASO●出品者数41名/作品65点/来場者872名/新人賞3名
- 千葉** 第30回武蔵美千葉支部小品展●船橋市民ギャラリー●9月24日～9月29日●出品者数36名/作品78点/来場者573名



支部長・事務局長交代

- 福島** 支部長：加兒直子から 松本りか(83学建)へ交代
- 静岡** 支部長：亀山修史から 福田純子(91短デグラ)へ交代
- 滋賀** 支部長：谷元茂夫から 小林斐子(68学美日)へ交代
- 鳥取** 支部長：前田明範から 来間直樹(88学建)へ交代
- 島根** 事務局長：入澤道子から 渡辺晴美(02通美)へ交代
- 宮崎** 支部長：島崎清史から 吉田健(81学油)へ交代
- ムサ通の会** 事務局長：山川芳夫から 森寛(12通油絵)へ交代(会長と兼務)

『ムサ通の会』2019年度定期総会開催報告



7月15日(月・祝)、吉祥寺校で2019年度の「ムサ通の会」定期総会が開催されました。19名が参加、決算・活動報告と新年度の予算案および「アート&デザイン展」「WEBギャラリー」企画案を含む活動計画が決議されました。総会後の懇親会も大盛況のうちに終了いたしました。
「ムサ通の会」会長 森 寛

『生デの会』総会＋トークイベント開催報告



2019年10月26日(土)／武蔵野美術大学13号館3F 校友会スペース
賑わう芸術祭の中、『生デの会』総会とトークイベントが開催されました。久しぶりにムサビに訪れた多くの卒業生は浦島太郎になった気分だったことでしょう。トークイベント「生デ復活！卒業生が生デを語る」では、11名の卒業生たちの今がどれほど強くムサビ時代と繋がっていたかを感じることができ、さらに未来を作ろうとする姿勢に力をもらえました。詳しくはサイトに報告いたします。これからもこの繋がりの糸を大切に長く美しく編み続けていきます。
<https://seidenokai.com/>
『生デの会』会長 田村 陽子

Calendar

支部・催事カレンダー 2020年1月→6月

1月	18(土)	日月会	長尾重武賞 表彰式 武蔵野美術大学鷹の台キャンパス
	26(日)	新潟	裸婦デッサン会(求美会)(時間9:30~16:00) 新潟駅南コミュニティセンター美術工作室 025-246-6647
		愛知	新年会&ツキイチ会(ツキイチ会は、毎月開催・日時未定) 葵倶楽部 052-934-7035
2月	8(土) ~13(木)	栃木	第10回ムサビ栃木支部展 栃木県総合文化センター 028-643-1000
	16(日)	茨城	第6回人物デッサン会(時間13:00~17:00) 牛久市中央生涯学習センター美術工芸室 029-874-3111
		福井	例会・企画展見学研修会(日時未定) 福井県立美術館
3月	7(土)	ムサ通 の会	卒業制作展見学&musa2懇親会 鷹の台キャンパス及び国分寺周辺
	20(金) ~25(水)	長崎	武蔵美校友会 長崎支部展 佐世保市島瀬美術センター 0956-22-7213
	21(土) ~22(日)	沖縄	沖縄こどもの国ART with ZOO(時間11:00~16:00) 沖縄こどもの国 水とみどりの広場・動物センターZOOスクール
	22(日)	新潟	裸婦デッサン会(求美会)(時間9:30~16:00) 新潟駅南コミュニティセンター美術工作室 025-246-6647
	28(土)	日月会	総会 武蔵野美術大学吉祥寺校舎
		広島	総会・懇談会(日時未定) ホテルセンチュリー 20広島(予定) 082-263-3111
4月	5(日)	奈良	奈良支部総会 ギャラリーカフェタケノ 0742-22-7615
	26(日)	新潟	裸婦デッサン会(求美会)(時間9:30~16:00) 新潟駅南コミュニティセンター美術工作室 025-246-6647
	下旬(予定)	福岡	総会・懇親会 福岡市美術館会議室 092-714-6051
5月	5(火) ~10(日)	広島	広島 第49回MUSABI展 広島県立美術館県民ギャラリー第1室 082-221-6246
	10(日)	大阪	デッサン会1(時間12:00~14:40) 支部総会(時間15:00~17:00) 江之子島文化芸術創造センター 06-6441-8050
	24(日)	新潟	裸婦デッサン会(求美会)(時間9:30~16:00) 新潟駅南コミュニティセンター美術工作室 025-246-6647
6月	2(火) ~7(日)	鹿児島	第36回む展(時間9:30~18:00/入館は17:30まで) 鹿児島市立美術館1階 099-224-3400
	3(水)	広島	ミニ懇親会(場所未定)
	14(日) ~20(土)	千葉	2020TOKYO展(時間11:00~19:00) 東京交通会館B1Fゴールドサロン 03-3215-7933
	23(火) ~28(日)	茨城	第18回茨城支部展(時間9:30~17:00) 茨城県つくば美術館第1展示室 029-856-3711
	28(日)	新潟	裸婦デッサン会(求美会)(時間9:30~16:00) 新潟駅南コミュニティセンター美術工作室 025-246-6647
	29(月) ~7/5(日)	神奈川	M展2020 武蔵野美術大学出身作家による (時間11:00~18:00/最終日は16:00まで) 画廊 楽 I・II 045-681-7255
		福島	支部総会(日時未定)

支部活動クローズアップ〔大阪〕

〔海岸通ギャラリー CASO〕

最後の「武蔵野美術大学90周年記念校友会大阪支部展」

2019年度の「大阪支部展」は、港区の海遊館に近い、〔海岸通ギャラリー CASO〕(以下〔CASO〕)で開催されました。「第4回支部関西展」閉会から1週間後のオープンで、9月17日から約2週間のロングランでしたが、872名もの方々に足を運んでいただきました。ひときわ高い壁面を利用した42名の出品者、作品65点による〔CASO〕での大作展は今年が最後となりました。

リーガロイヤルホテルでの「小品展」と交互に、隔年開催の5回目としての「大作展」の実施は、出品者にとって感慨もまたひとしおでした。〔CASO〕は、今後商業系の写真スタジオとして利用されますが、支部展開催にあたり、各方面からの並々ならぬお力添えをいただきありがとうございました。

本展覧会は、これを変革の機会と捉え、支部展の会場の中に全体の半分のスペースを「個展」専用にて、1週間で入れ替える計6組の「個展」も併せて開催。また、従来の絵画中心の展示から、デザイン・映像を含む他分野の会員も出品しやすい環境づくりを標榜し、5名の新人の参加もありました。企画としての「個展」や瀬島匠先生のドキュメント映画「僕の好きな先生」の上映会、例年の新人賞投票のほか、オープニングパーティーとランチパーティー 2度の懇親会を通じて関西各支部の方々と懇親の場をもつことができました。

今後は楽しく個性ある支部展をコンセプトとして掲げ、実現を目指してまいります。従来のデッサン会やスケッチハイクの他、横断的に学生参加のできるセミナーの企画や、アートを中心としたワークショップなどを、絵具メーカーさんの協力を得て展開していく構想も立てています。地域で活躍されている通信出身の方々を中心に、関西2府4県の支部間での企画や、発足間近の日月会関西フォロ、他美大校友会との交流による新しいアイデアの醸造を企てます。そして少子化のなかで、いかに若い人たちの活躍の場を設けるかという課題に対し、実質的な企画プログラムを繰り返し提供できる機会を創っていきたく考えております。 —大阪支部長 小林康夫



出品者集合



搬入準備作業



個展会場



一般展示会場

新常任幹事紹介



萩坂智子 (はぎさかともこ) 06学油
出身：埼玉県
職業／専門：フォトグラファー、WEBデザイナー



南雲雄大 (なぐもゆうだい) 18学建
出身：埼玉県
職業／専門：学生



佐藤慧 (さとうけい) 18学日
出身：神奈川県
職業／専門：武蔵野美術大学大学院造形研究科日本画専攻1年

後援実績 (承認2019年4月→2019年10月)

卒業生グループ展等への後援助成

- 第15回フォルム・フォロセミナー (日月会)
- 滄珠展vol.2 (通油日卒業生+在学生グループ展)
- 未来抽象芸術展vol.14 芸術家の挑戦
(院造美・通油絵卒業生が参加)
- 伸岳会展2019 (通油絵グループ展)
- なりきり動物仮面参上!
(学油卒業生による木曾養護学校でのワークショップ)
- 第2回「耀28」日本画展 (通油日卒業生グループ展)
- 「TOKYO×PRINT×LANDSCAPE IV〜新しい季節をまながら〜」
(学油・院美版グループ展)
- 第3回たよう展
(通油絵・通油日・通油版、芸文、彫刻卒業生+在学生・中退者グループ展)
- 武蔵野美術大学90周年記念支部展 併設企画 (大阪支部)
- A&D同時開催企画「カラーパーティー展」(基礎デの会)
- SCENE2019 (通油絵グループ展)
- ス・リーグ (学油版卒業生・大学院版画在学生グループ展)
- 第12回山口長男☆野見山昶治と実専展 (実技専修科卒業生グループ展)
- A&D同時開催企画「日月会 U-50の現在の活動」(日月会)
- 堀内貞明遺作展 (堀内貞明遺作展実行委員会)
- Karuta2020 ヒカリエ かるたでつなぐ人と世界 (基礎デの会)
- ムサ美埼玉2019展記念フォーラム (埼玉支部)
- 校友会サロン風月企画 生デの会第2弾トークイベント (生デの会)

NEWS TOPICS

四美大アラムナイ企画 報告

10月2日「美術を楽しむ日」告知ポスター制作



四美大アラムナイが「美術を楽しむ日」をPRすることを目的として、ポスターを制作しました。吉祥寺パルコにて10月1日～10月15日の15日間ディスプレイされました。東京都内小・中・高校を中心にポスターを送付し、掲示のお願いをしました。

10月2日「美術を楽しむ日」記念

ムサビキッズプログラム『親子鑑賞会2019』

11月2日(土) 展覧会「スタシス・エイドリゲヴィチウス：イメージ記憶の表象」を鑑賞／対象：小学生4年～6年
参加：親子6組14名

主催：四美大アラムナイ & 武蔵野美術大学 美術館・図書館
学芸員より作者の生い立ちなどの説明を受け、子ども用ワークシートにある絵探しと自分や家族によく似た絵を探したり、椅子ギャラリーでは好きな椅子に座ったりと親子で美術館を楽しんでいました。



左から：武蔵野美術大学美術館・図書館の展示室、椅子ギャラリー

逝去された会員の方々

(2019年4月～2019年9月連絡のうち掲載承諾分のみ掲載) ※敬称略・()内は旧姓

65学美油 馬場功子(糸賀)
55校本洋 福沢献男
74通デ商 寺田洋祐
71短デ商 高橋保雄
58短美工 松山曠
59校本洋 野口和子
76学美日 満岡厚子(佐藤)

57校図二一 瓜生傳
69別油 佐伯浩
55校本洋 小松利正
68学産工 石野潔
91通デグラ 更井祥文
67学美彫 塩谷征
85短専美 青池昭代(田倉)

65短専工 栄木正敏
86学建 佐保直子
53校本洋 朝妻洋三
72学美油 前田明範*
76学産工 三坂基文*

*前田明範氏は鳥取支部長として、
三坂基文氏は前鹿児島支部長として、
校友会活動にご尽力をいただきました。
生前のご厚情に感謝申し上げます。

みなさまのご冥福を心よりお祈りいたします。

奨学募金 寄付の方々

2019年4月1日—9月30日

74 内藤恵美子	91 能勢榮	
86 横山廣子	06 黒原健太郎	
02 安藤利江	15 小林傑	
88 今井雅也	18 武藤千幸	
77 土橋邦俊	00 下堀恵美子	
06 大井洋子	94 宇佐美健介	
70 伊藤美恵子	65 伊藤洋子	
88 佐藤富美子	01 中村睦	
65 穴戸征四郎	76 藤倉俊則	
69 野間俊介	64 井上恵子	
00 松元念一郎	07 海老原宏志	
16 戸部紗希子	18 齋藤千彰	
18 上門美智子	16 田中清江	
66 服部敏行	17 土屋義恵	
65 久世アキ子	15 石井李枝	
68 水戸篤子	83 竹内伸夫	
69 萬澤まつ江	80 木村高雄	
81 飯塚孝	91 武野しづえ	
83 二宮昌世	75 西岡康雄	
07 和賀咲子	79 高石美枝子	
67 藤田典子	75 川本厚美	
73 井上真知子	93 白岡あゆみ	50名
09 松川明大	01 岩岡順子	323,000円
86 米倉初子		
75 萩原清作		
01 深川多永子	敬称略 送金順	沢山のご厚志に
15 西永和輝	数字は卒業年度	心より御礼を 申し上げます。

ホームカミングデー第7回「校友会 サロン風月」報告

10月26日(土)・27日(日)

入場者数 1,000名
ワークショップ 99名

展示・トークイベント・ワークショップ・パーティー

今年も2会場で開催し、多くの方々にご来場いただきました。A会場12号館では、校友会奨学生「卒業制作優秀賞」受賞作品5作品を展示。ワークショップでは、たくさんの親子に「毛糸のタッセル」「伝承遊びの六角返し」「くるくるプロペラ」の三つをつくって楽しんでいただきました。夕方のホームカミングパーティーでは、恩師や旧友とゆっくり語り合える場をもつことができました。

B会場13号館では生デの会トークイベント「生デ復活！卒業生が生デを語る」を開催し、約50名が参加しました。懐かしい恩師と卒業生が在学中の思い出や卒業後を語りました。校友の寄贈本や本部、支部の活動紹介、ムサビ60周年グラフィティパネル（網戸名誉教授寄贈）などを展示し、キャンパスの歴史写真やアート&デザインでのトークライブ「みうらじゅんからの手紙」DVDを上映しました。

ワークショップの参加費と募金額合計20,891円を今年は、令和元年台風19号災害義援金として日本赤十字社へ寄附させていただきました。

常任幹事 サロン風月委員長 新井優子



毛糸のタッセル作りのワークショップ



サロン風月 A会場風景

2019年度 武蔵野美術大学校友会奨学生15名 決定！

通学課程4年生 募集定員12名 各100,000円(贈与)

10月27日(日)面接審査選考後、厳正なる審査のうえ、下記の13名(2名1組合む)を奨学生として決定いたしました。*出願者数28名(審査25名・2名1組合む)

宮城彩 日本画学科	池田悠実花・木綿加奈 空間演出デザイン学科
池上亜紀 油絵学科(油絵専攻)	三木翔矢 空間演出デザイン学科
飯田千晶 油絵学科(版画専攻)	大関龍一 建築学科
落合梨乃 油絵学科(版画専攻)	塩澤芳樹 建築学科
杉山梨瑚 彫刻学科	ホンジウン 芸術文化学科
恒川莉沙 彫刻学科	白井怜奈 デザイン情報学科

通信教育課程4年生 募集定員3名 各100,000円(贈与)

研究室より推薦いただいた後に、校友会にて厳正なる審査のうえ、下記3名を奨学生として決定いたしました。*出願者数7名(審査7名)

前谷治子 油絵学科 版画コース
鈴木悠子 デザイン情報学科 デザインシステムコース
石附絵理 デザイン情報学科 コミュニケーションデザインコース

敬称略

情報提供の お願い

www.msb-net.jp

●校友発掘キャラバン取材候補者推薦募集

情報提供いただいた方全員にムサビグッズを
プレゼント！(協力：武蔵野美術大学出版局)

【問合せ・応募先】

校友会Webサイト問合せフォーム、メール、郵便にて、
皆様の応募をお待ち申し上げます。
e-mail: msb-kk@msb-net.jp
〒180-0002武蔵野市吉祥寺東町3-3-7

パリ賞 受賞者

宮本 絵梨

2011年度 大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了
別館(2020年4月渡仏)

渡川 いくみ

2014年度 造形学部油絵学科油絵専攻卒業
本館(2020年9月渡仏)

2021年度パリ賞募集について

武蔵野美術大学では本学卒業生(卒業、修了後2年以上8年未満)を対象としたパリ賞を設置しています。受賞者には、フランス・パリにある国際芸術都市アトリエを創作活動の場として1年間提供し、副賞として100万円の研究費が支給されます。

パリ賞の応募にはエントリーが必要になりますので、応募を希望する方は事前にエントリーを行ってください。応募方法等の詳細は募集要項をご確認ください。2021年度募集要項は、2020年4月上旬に大学ホームページに掲載予定です。

パリ賞に関するお問い合わせ paris@musabi.ac.jp

2019年度芸術祭「YO-HO!」

入場者数 62,326名
昨年度より +15,036名



2019年度芸術祭「YO-HO!」

2019年10月25日(金)～27日(日)に実施されました。
校友会は今年も芸術祭を支援しました。

90周年記念募金ご協力をお願い

同封物のお知らせ

本学は2019年に創立90周年を迎え、2018年度、2019年度の2年間、90周年記念募金を実施しております。つきましては、校友の皆様にもご支援をお願いいたく、今回の会報誌に90周年記念募金に係る資料を同封させていただきました。

誠に恐縮ではございますが、皆様の温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

なお、発送手続きの関係上、すべての校友の方に資料を同封させていただいております。災害救助法適用地域にご住所のある方にも資料が同封されておりますが、ご容赦いただきますようお願い申し上げます。

学校法人 武蔵野美術大学 教育振興資金係

卒業・修了制作展

会場：武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス(通学・通信 共通)

通学生 ・会期 2020年1月16日(木)～1月19日(日)
・時間 9:00～17:00

通信生 ・会期 2020年3月7日(土)～3月10日(火)
・時間 9:00～17:00

ムサビ展覧会 美術館・図書館

MAU M&L 本年度の
展覧会スケジュールです。

助手展2019 武蔵野美術大学助手研究発表

会期：11月25日(月)～12月21日(土)

会場：美術館 展示室1・2・4・5、アトリウム1・2、美術館ホール

休館日：日曜日、祝日 開館時間：10:00～18:00(土曜日17:00閉館)/入館料：無料
問い合わせ：美術館・図書館 美術チーム
Tel: 042-342-6003 URL: mauml.musabi.ac.jp Twitter: @mau_m_l

民俗資料室

民俗資料室 本年度の
展覧会スケジュールです。

民俗資料室ギャラリー展示(27)

くらしの中の布 — まとう・つつむ・たたむ —

会期：11月25日(月)～12月21日(土)

会場：武蔵野美術大学13号館2階 民俗資料室ギャラリー

休館日：日曜日、祝日 開館時間：10:00～17:00/入館料：無料
問い合わせ：美術館・図書館 民俗資料室
Tel: 042-342-6006 URL: mauml.musabi.ac.jp Twitter: @mau_m_l

gallery αM 展覧会日程

gallery αM 本年度の展覧会スケジュールです。

休館日：日曜日、月曜日、祝日
開館時間：11:00～19:00
入場無料
Tel: 03-5829-9109
Fax: 03-5829-9166
gallery-alpha.com

αM プロジェクト2019「東京計画2019」 ゲストキュレーター：藪前知子(東京都現代美術館学芸員)

vol.5 中島晴矢

11月30日(土) — 2020年1月18日(土) 冬期休廊 12/26 — 1/6

「αM+ (アルファエムプラス)」

会場：国立奥多摩美術館 2020年2月1日(土) — 3月14日(土)

次年度 予告

αM プロジェクト2020「約束の凝集」 ゲストキュレーター：長谷川新(インディペンデント・キュレーター)

詳細未定(決まり次第、公式WEBサイト等で告知いたします) → gallery-alpha.com

恩師訃報

心よりご冥福をお祈りいたします。



名誉教授

寺田 秀夫 氏

てらだ ひでお
(94歳)
建築家

令和元年8月9日逝去
昭和40年 武蔵野美術大学教授
平成7年 武蔵野美術大学名誉教授



名誉教授

勝井 三雄 氏

かつい みつお
(87歳)
グラフィック
デザイナー

令和元年8月12日逝去
平成5年 武蔵野美術大学教授
平成14年 武蔵野美術大学名誉教授



上 フランスのエッフェル塔(A・Bコース共通)
下左 ドイツのローテンブルグ(Aコースのみ)
下右 イタリアのミラノ大聖堂(Bコースのみ)

msb! スタディツアー

武蔵野美術大学校友会推薦 主催:日通旅行(株)

ヨーロッパの美術・建築・デザインを訪ねる旅 20日間・14日間

5カ国11都市を巡る20日間、4カ国9都市を巡る14日間と選べる2コースを用意しました。
どちらも人気のパリには3連泊します。

A コース 20 日間	旅行期間	2020年 2月17日(月)～3月7日(土) 20日間
	旅行代金	399,000円 お1人様あたり・2名1室料金 (燃油サーチャージ等含まず)
	利用予定 航空会社	ブリティッシュ・エアウェイズ ※予定 (エコノミークラス)
	食事回数	朝18回・昼0回・夕0回(機内食は除く)
	コース	羽田空港→(乗継)→ベルリン(3泊)→ ワイマール(1泊)→ローテンブルグ(1泊)→ フランクフルト(2泊)→ケルン(1泊)→ アムステルダム(2泊)→ブリュッセル(2泊)→ ロンドン(3泊)→パリ(3泊)→(乗継)→成田空港

B コース 14 日間	旅行期間	2020年 2月17日(月)～3月1日(日) 14日間
	旅行代金	349,000円 お1人様あたり・2名1室料金 (燃油サーチャージ等含まず)
	利用予定 航空会社	フィンエア ※予定 (エコノミークラス)
	食事回数	朝12回・昼0回・夕0回(機内食は除く)
	コース	成田空港→(乗継)→ローマ(2泊)→ フィレンツェ(2泊)→ミラノ(2泊)→ ジュネーブ(1泊)→パリ(3泊)→ ヘルシンキ(2泊)→成田空港

→ 飛行機 → 専用バス → 列車

A・Bコース共通事項 添乗員:各コースとも添乗員・講師が同行いたします/最少催行人数:各コース25名(募集35名)/ホテル:3つ星以上(世界ホテル案内・2019年10月現在基準より)

※この広告のみではお申し込みを受け付けておりません。お申し込みはパンフレットを下記までご請求いただき、詳しい旅行条件を事前確認のうえお申し込みください。

資料請求 お問い合わせ	旅行企画・実施 日通旅行(株) 団体営業部営業第3課	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1大手町ビル TEL: 03-6256-0173 FAX: 03-6212-1522 営業時間 9:00～17:00(月～金)	土・日・祝日休業 担当: 高谷 MAIL: ka-tsutatanai@nittsu.co.jp (案准広第091号)承認日2019年10月2日
----------------	----------------------------------	--	--

※武蔵野美術大学校友会はこの旅行を推薦するだけであり、この旅行の責任の一切は日通旅行(株)にあります。

観光庁長官登録旅行業第1937号/(一社)日本旅行業協会正会員/総合旅行業務取扱管理者: 藤田(しのぶ)

事務局だより

大雨、台風等により被害に遭われた会員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

住所、氏名、勤務先等に変更が生じた場合は、校友会webサイト専用フォームまたはe-mailにてお届けください。また、受賞、展覧会情報、ご意見、ご要望を是非お知らせください。



お問合せ 武蔵野美術大学校友会事務局
〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町3-3-7(吉祥寺校内)
開局時間: 月曜日～金曜日(午前9時～午後5時)
Tel: 0422-22-6407 Fax: 0422-22-7612
www.msb-net.jp Mail: msb@msb-net.jp
各種申請・お申込みは左記QRコードの校友会WEBサイトの
フォームよりお願いいたします。

編集後記

ムサビ90周年企画として、昨年よりスタートした「ムサビファミリー」の紹介は今号が最終回となります。吉祥寺校で開催した総会とアート&デザイン、7回目の校友会サロン風月に多くの方にご参加いただくことができました。インタビュー、エッセイなど、今号も多彩な仲間たちを紹介させていただきましたが、ますます取材を進めてまいります。取材対象者の推薦情報の提供をお願いいたします。皆様にとって来年が健康でよい年になりますようにお祈りいたします。今年もご愛読いただき、ありがとうございました。

——広報部

MSB! MAGAZINE

次号(No.110)表紙&
インタビューゲストは

CHITO氏(00学映)フォトグラファー

聞き手: 増山さやか

会員特典

「武蔵野美術大学校友会会員」の特典をご紹介します。校友会Webサイトでも詳細をご覧ください。 www.msb-net.jp/activity/privilege

大学施設利用

武蔵野美術大学 美術館・図書館&イメージライブラリー・大学寮の継続利用。美術館・図書館およびイメージライブラリーは館内のみ利用できます。
※利用時、校友の確認あり/半期単位の利用登録も可

大学寮(奈良寮・五箇山無名舎)は卒業生料金にて利用できます。
www.musabi.ac.jp/outline/facility/welfare

受付窓口 総務チーム
Tel: 042-342-6021
9:00-16:30(昼休み12:40-13:40日・祝除く)

画材・ギャラリーの割引

お申込み、問合せは各ギャラリー・画材店へ直接お願いいたします。

世界堂武蔵野美術大学店
Tel: 042-349-3344
Fax: 042-349-3345
ツイッター: @SekaidoMusabi
ウェブ: www.sekaido.co.jp/store/86

全国のプリンスホテル施設の 優待利用

ご卒業後は会員特典として特別価格にてご利用できます。下記Webサイトから即時予約可能です。

www.princehotels.co.jp/keiyaku
(ログイン パスワード prkeiyaku)

お電話の場合は、「武蔵野美術大学校友会会員」とお伝えください。お申込み・パンフレット請求は(株)プリンスホテル予約センターまで。
Tel: 0120-33-8686 携帯: 0570-02-8686

日本フィルハーモニー交響楽団 演奏会優待利用

定期演奏会ほか規定の演奏会が10%割引になります。下記Webサイトから即時予約可能です。
www.japanphil.or.jp/ticket/order
[日本フィルチケット] からログイン
ログインID: msb-alumni
パスワード: msb_2019
※2019部分は毎年その年の数字に変わります。

お電話でご予約の際は「武蔵野美術大学校友会会員」とお伝え下さい。
Tel: 03-5378-5911 Fax: 03-5378-6161
(平日10:00-17:00)
Mail: order-ticket@japanphil.or.jp

**高精細
ポスター出力** B3×1枚 1,400円から

・糊付、和紙、キャンバス等 多彩な素材対応!
・パネル加工、表面加工も対応!

PICO ☎0422-54-0051
http://www.pico-net.com/
support@pico-net.com

プリンティングイン株式会社
営業本部 〒180-0012 東京都武蔵野市緑町1-5-1 東海グリーンパークビル2F
神田PICO 〒101-0047 東京都千代田区区内神田2-14-6 神田アネックスビルB1F

CORSO アートギャラリー
CREATIVITY ART SPACE

・個展でもグループ展でも!
・壁面4m×2.4H
・20名がA3サイズ各5枚以上でも可能!

@gallercorso

BOULANGERIE
Pain
ensuite
destination
EMU

ふんわり、しあわせの味。
とっておきのおいしさを
お届けします。

http://www.ichikawa-bake.com

エミュ武蔵野美術大学店
営業時間: 8:00～20:00日曜定休 東京都小平市小川町1-736 TEL: 042-342-9539 株式会社イチカワ

彩りある 未来創造パートナー

KUSAKABE
since 1928
www.kusakabe-enogu.co.jp

● Artist's
Oil Color
Water Color
Aqyla
● Daler-Rowney
● Silver Clay
● Others

インターネットで買い物 自宅に居ながらがやっぱり1番の魅力、欲しいものをすばやく探す。

ON-LINE SHOP SEKAIDO http://webshop.sekaido.co.jp/
世界堂オンラインショップ 検索

TEL・FAX・封書でも注文うけたまわります。
〒160-0022 東京都新宿区新宿3-1-1 世界堂ビル6F
TEL03-5360-4009/FAX03-5360-4010 (24時間受付)
営業時間 9:00～18:00/定休日 日曜日

文具・画材・額縁の専門店
世界堂

武蔵野美術大学店
〒187-0032
東京都小平市小川町1-736
TEL 042-342-6971 FAX 042-349-3345

※地方発送承ります。お気軽にお問い合わせ下さい。